

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	理念に地域密着の表現が無くグループホームとしての役割意識が不足している。	理念に地域密着の視点を加える事でグループホームとしての意識や役割を認識する。	理念に「地域に根ざしたホームづくり」を加える事で施設の方針を理解し実践する。	1ヶ月
2	6	権利擁護に関する制度について全職員学ぶ機会が少なく、家族等への説明理解も十分ではない。	権利擁護に関する制度が利用者支援の大切な一つであることを改めて全職員が認識し利用者、家族への周知も図っていく。	外部研修への職員の参加、施設内研修の充実、利用者家族へも家族会や運営推進会議の際に説明する機会を設け周知を図っていく。	6ヶ月
3	17	建物の構造上、車椅子使用時ドアが完全に閉まらずプライバシー保護が難しい。	目隠し等を設置し、プライバシー保護に努める。	カーテン等を使用しトイレでのプライバシーを守る。居室にてポータブルトイレ使用時は、ドアを閉めプライバシー保護に配慮する。	1ヶ月